

日 18 令
26. 6. 18

へど戻る▶長い長い旅に耐える
強い生命力を持つウナギを、日本人は万葉の昔から滋養にいい
と知っていた。大作家持は愈々
漁せに良しといふかのぞ武奈後
用の丑の日に食べると言はて知
らずといわれ、日本の食文化を
代表する料理である▶私たち
の口に入るウナギはほとんど養
殖で、シラスウナギから太らせ
る。輸入も含めてそのシラスウ
ナギが激減しているのだから価
段も上がる。食べる側も提供す
る側も台所は苦しい。養鰐の盛
んな本県でも、資源回復は切実
な願いだ▶つかんでもスルツこ
すり抜けのウナギは、実は遠い
生まれ故郷に帰りたくて必死な
のかもしれません。しばらくは心置
きなく里帰りをしてもらい、赤
ちゃん誕生を待とう。世界のウ
ナギの7割を消費する日本人で
ある。肝の大きさが問われる。

ホンウナギ

二ホンウナギが絶滅危惧種になつた。国際自然保護連合の指定だから、世界中で規制が進むかもしれない。たまたま世界に浸したかは焼きの香はしいにおいはますます遅くなる▶二ホンウナギは東アジアに生息する。日本で消費が増えて乱獲が進み、またコソラリート護屋が増えたことも、ウナギの寝床をなくしてしまつた原因とされる。どれくらい絶滅の恐れがあるのかどうビバンダやトキ、アカウミガメなど同じカテゴリーらしい▶ヌルヌルした体と同じでつかみどころがないように、生態には謎が多い。日本から南へ2千キロのアリアナ諸島西方面海域が産卵場所といわれる。黒潮に乗つて稚魚のシラスウナギになり、日本の河川で成魚に育つと再びアリアナ